

## 「自ら考え，進んで学習に取り組む児童の育成」

～読解力を高める授業づくりを通して～

### I 研究の内容

#### 1 研究の具体的内容

##### (1) テーマに関わる理論学習

- ①児童の実態を把握し，課題を明確にする。
- ②「読解力」についての理論研究を行い，共通理解のもとで具体的指導法を探る。  
・ 峡東教育事務所 萩原 徹指導主事「読解力」について

##### (2) 研究方法

- ①「読解力」を明確にし，「読解力」に視点を当てた授業実践をする。
- ②一人一実践による授業公開をし，互いに学び合う場を持つ。
- ③猿橋小学校元講師 橘田 篤男先生「百クラスでの授業」授業実践より学ぶ。

##### (3) 外国語活動についての研究と実践

- ①担任主導の授業形態について授業実践から学ぶ。

### II 成果と課題

#### (1) テーマに関わる理論学習に関わって

- ・ 理論学習では指導主事の先生に分かりやすく詳しく指導していただけてよかった。  
「読解力」のとらえ方，「読解力」の具体的な力，「具体的な力」はどのような活動につながるか，発達段階でどのようにかわっていくかなど学習を深めることができた。

#### (2) 研究方法に関わって

- ・ 授業実践については，全員が一実践を行うことで，学年の発達段階に応じた読解力を高めるアプローチが見られてよかった。また，全学年の児童の様子も見られるのは良いと思う。
- ・ 各学年の授業を見ることで，子どもの様子・担任の授業に対する姿勢等が分かってよかった。
- ・ 学年の発達段階に応じた読解力を高める効果的な授業実践が行われていた。
- ・ 全員が授業を提供し参観し合うことは、授業力の向上につながると同時に、全職員

で全校児童を理解する機会ともなり、大変意義あると思う。

- ・一人一実践の取り組みを通して、読解力が少しずつ向上してきているのではないか。
- ・読解力は、すべての教科の基本である。読解力が高まり、学習の理解が高まれば、きっと学習意欲も高まると考え授業実践をしてきた。子ども達の大きな変容としては、文章の中身を理解して読もうとする姿勢が高まったように感じる。基礎基本の大切さを改めて感じた。
- ・橘田先生「百クラスでの授業」授業実践より、「読解力を高めるということ」についても学ぶことができた。
- ・来年度は「確かな学力」育成プロジェクトの関わりの中でテーマを考えていく必要がある。
- ・学習意欲に関することや、読解力を高めるというテーマは、子ども達の変化や伸びを客観的に評価することがなかなかできないという面があるように思う。難しいことであるとは思いますが、研究として取り組んでいくには、「こういう試みをした結果 → こうなった」というように、可能な限り具体的な研究の手法や子ども達の変容、検証方法が、明確にできるような研究の取り組みも、今後は考えていく必要があるようにも思える。

### (3) 外国語活動についての研究と実践に関わって

- ・他学年の外国語活動の様子がわかってよかった。
- ・担任が ALT のフレッド先生と楽しい授業が行われていた。
- ・打ち合わせの時間が少ないので、前の週に次回の相談ができればいいのだが、現実にはなかなか難しい。当日に時間を見つけて打ち合わせをしている現状である。

## III 成果物

### 1 読解力に視点を当てた授業実践指導案（ワークシート等も含む）

- 1年 算数科「20より大きいかず」廣瀬みどり教諭
- 2年 算数科「九九をつくろう」筒井美代子教諭
- 3年 社会科「見直そうわたしたちの買い物」飯室美華教諭
- 4年 国語科「アップとルーズで伝える」大村健一教諭
- いちよう学級 国語科「ごんぎつね」清水新果教諭
- 5年 国語科「大造じいさんとガン」三森明美教諭
- 6年 算数科「算数の目で見よう」金井巖教諭

### 2 外国語活動授業実践指導案

- 6年 外国語活動「アルファベットで遊ぼう」金井巖教諭

(研究主任 三森明美)